

生物多様性センター熱源機更新工事

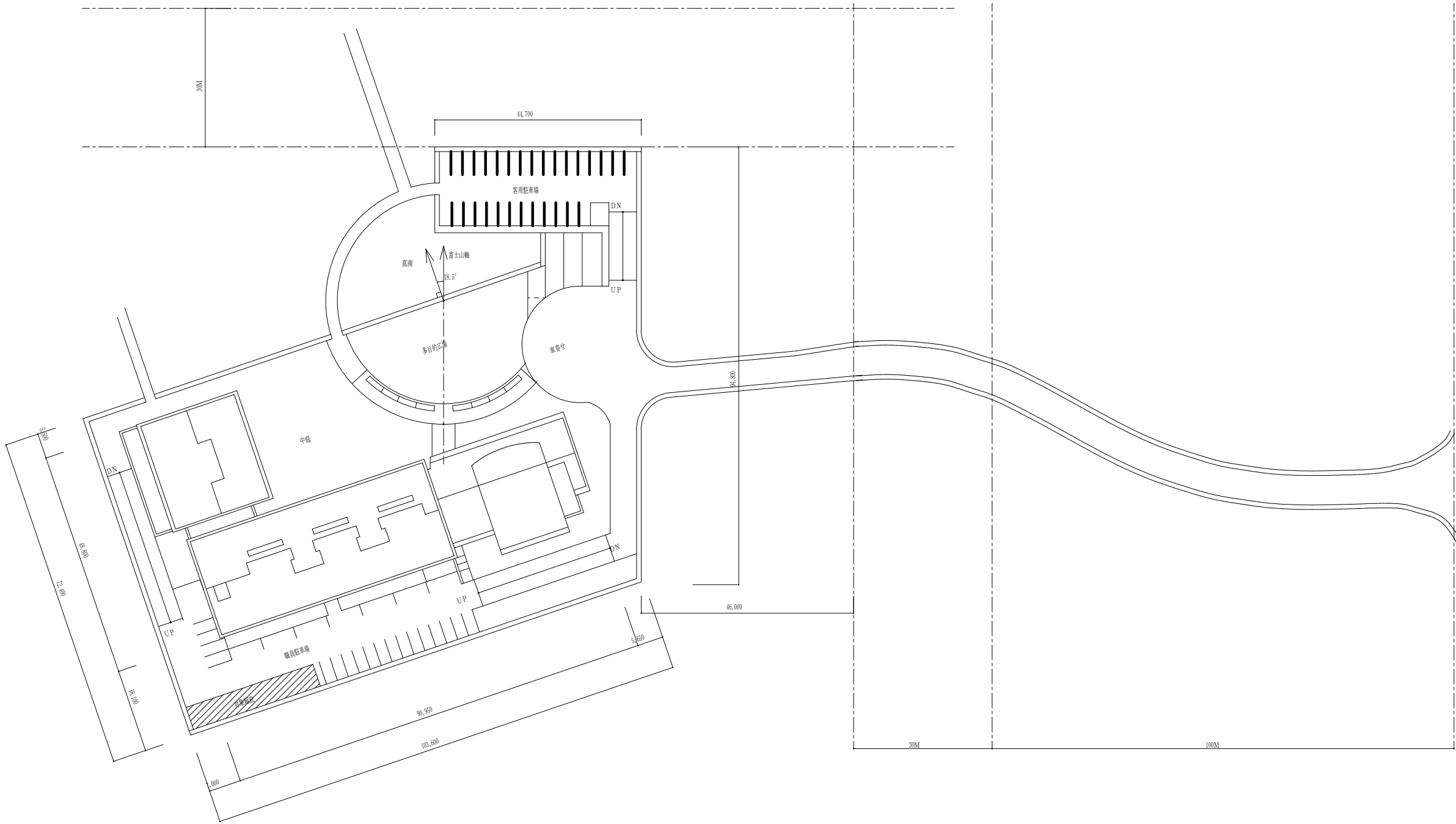
図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
M-01	特記仕様書	A1 S=NS A3 S=NS	A-01	平面図・断面図・詳細図	A1 S=1:30・50 A3 S=1:60・100	E-01	電気設備特記仕様書	A1 S=NS A3 S=NS
M-02	配置図	A1 S=1:500 A3 S=1:1000	A-02	改修前立面図	A1 S=1:50 A3 S=1:100	E-02	改修後 直流電源装置 参考結線図・参考機器姿図	A1 S=NS A3 S=NS
M-03	系統図	A1 S=NS A3 S=NS	A-03	改修後立面図	A1 S=1:50 A3 S=1:100	E-03	改修前 直流電源装置 参考結線図・参考機器姿図	A1 S=NS A3 S=NS
M-04	機器表	A1 S=NS A3 S=NS				E-04	搬入経路図（1）	A1 S=1:500 A3 S=1:1000
M-05	改修前平面図・断面図	A1 S=30・50 A3 S=60・100				E-05	搬入経路図（2）	A1 S=1:200 A3 S=1:400
M-06	改修後平面図・断面図	A1 S=30・50 A3 S=60・100						

工 事 名 称					生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事			工 事 年 度		令和7年度	
工 事 場 所					山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1			公 園 名 称		環境省自然環境局生物多様性センター	
発注機関											
審 査		課長	補佐	専門官	担当者	設計者	名 称	株式会社ディナック中日本			
							資 格 者 氏 名	中込 秀			
							登 録 番 号	一級建築士 第 217345 号			
							所 在 地	山梨県甲府市相生1-5-15-2F			

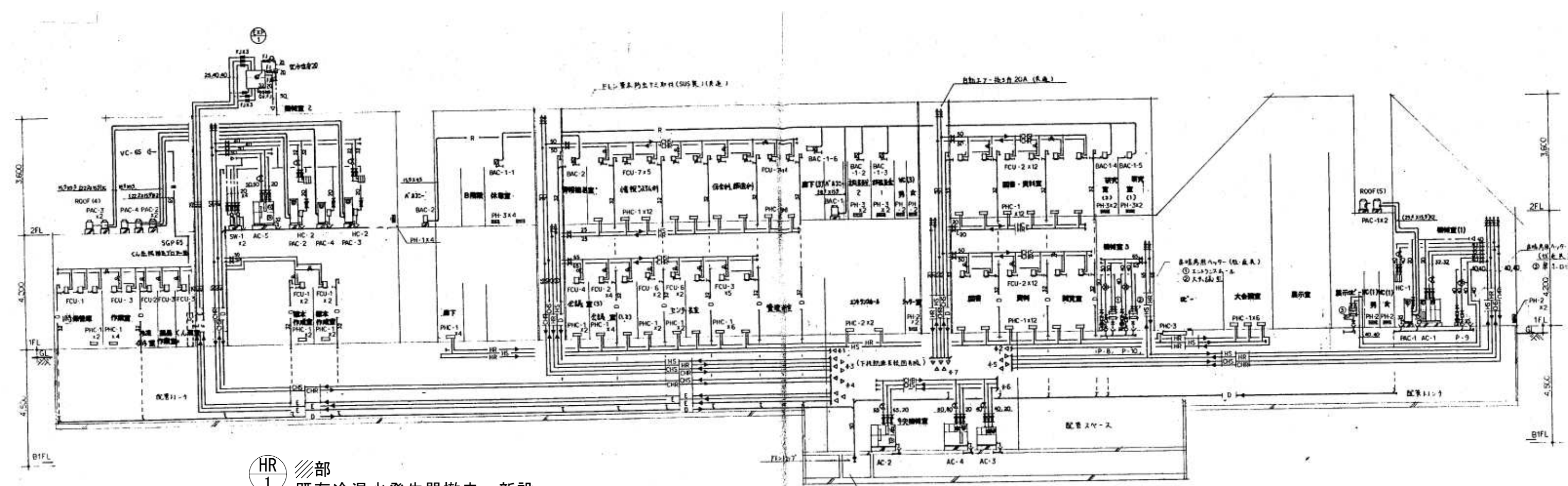
特記仕様書

A	建築概要	1 工事名称 2 工事場所 3 建築面積 4 建物構造	生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事 山梨県 延べ床面積 意匠図参照 建築面積 意匠図参照 意匠図参照																																			
B	工事項目	1 冷暖房設備工事																																				
C	優先順位	1 法令、政令、規則等の定め、及び指導 2 現場説明事項 質疑事項 3 特記仕様書 4 設計図 5 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『機械設備工事共通仕様書 最新年版』																																				
D	使用機材	機材はメーカーリストによる他、同等品以上とし、請負者は契約後、監督員の指示に従いリストを作成し、機材承諾を受けたものを使用する。																																				
E	工事範囲	本設計図は工事の概要を示すものであり、施工者は十分なる理解のうえ、施工図・製作図を提出し、監督員の承諾を得るものとする。請負者は特記仕様書、設計図書等に示す範囲において明記なき部分といえども技術上、施工上、本工事完成に必要と認められるものは監督員の指示に従って施工する。設計図書及び施工上で疑義ある場合、監督員と協議のうえ、その指示に従う。なお軽微な変更は請負者の責任において行うこと。																																				
F	提出書類	1 工程表等関係書類一式 2 メーカーリスト 3 製作図及び各種機器承認図	4 施工計画書、施工図 5 施工写真、完成写真 6 完成図書一式 7 官公署などの許認可書類 8 完成機器の取扱説明書 9 非常時連絡先 10 その他監督員の指示による																																			
G	一般事項	1 本工事施工に関しては、本特記仕様書 設計図書 関係官庁規則により施工する。特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『機械設備工事共通仕様書 最新年版』に準拠するもののほか、監督員の指示に従うものとする。 2 本工事に関する法令、条例及び規則等は、良くこれを厳守し、必要な書類、検査立会い、申請届等は、遅滞なく代行し工事の進捗に支障のないようにする。申請等に要する費用は、全て請負者の負担とする。 3 各種の施工は事前に施工図、製作図、承認図等を提出し監督員の承認を得ること。 4 本工事の着工から竣工まで、監督員の指定する箇所のカラー写真を撮り、サービス版1部を提出する。 5 本工事に於て満水試験、水圧試験、気密試験、通水試験等の各試験は、監督員立会いのもとに行うものとし、試験結果成績表等を提出すること。 6 本工事施工者は、定められた工期内で工事を完了し、完全な状態で引渡し出来るよう、完成と同時に完成図書、必要書類を添えて提出し、完成検査を受けなければならない。 7 本工事請負者は、工事完成引渡し後でも施工方法、器具類の不良等に起因する事故に対しては、責任をもって修復しなければならない。																																				
H	特記事項	1 管材は凡例参照 2 給水管（VB、VD）は管端防食継手を使用する。 3 給水管のパレルニップル及びロングニップルは、塩ビライニング鋼管（VB）を使用する。 4 給水管はMT型不凍栓を設け、管内の水を排水できるようにする。 5 ライニング管用のバルブ類はコアコートバルブ、ライニングバルブとする。 6 土間埋設配管は、管種に応じて架空配管と同じピッチにて土間スラブより吊ること。 7 排水管の勾配は屋内1／50 屋外1／100を標準とする。 8 陶器の色は標準色同価格品とし監督員と協議の上決定する。 9 図示に表示は無くも、屋外露出施工の給水管・給湯管には、全てに自己制御型の凍結防止電気ヒーターを巻施工を行う。又、監督員の指示により、施工場所を事前に協議する。 10 冷媒用化粧ケースは、SUS製ラッキング仕上げとする。（屋外露出部分のみ） 11 防火区画を貫通する配管の処理は、前後1.0mを不燃材料にて施工のこと。																																				
I	保温塗装	<table><tr><th colspan="5">施 工 場 所</th></tr><tr><th>配 管</th><th>屋 内 露 出</th><th>隠 べ い 部</th><th>埋 設 部</th><th>屋 外 露 出</th><th>備 考</th></tr><tr><td>給 水 管</td><td>a・(ハ)・Ⅶ</td><td>c2・(ハ)・Ⅶ</td><td></td><td>e2・(ハ)・Ⅶ</td><td>V B</td></tr><tr><td>給 湯 管</td><td>a・(ロ)・Ⅰ</td><td>c2・(ロ)・Ⅰ</td><td></td><td>e2・(ロ)・Ⅰ</td><td></td></tr><tr><td>排 水 管</td><td>a・(ハ)・Ⅶ</td><td>c2・(ハ)・Ⅶ</td><td></td><td>塗 装</td><td>V P V B</td></tr><tr><td>通 気 管</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>V P</td></tr></table>		施 工 場 所					配 管	屋 内 露 出	隠 べ い 部	埋 設 部	屋 外 露 出	備 考	給 水 管	a・(ハ)・Ⅶ	c2・(ハ)・Ⅶ		e2・(ハ)・Ⅶ	V B	給 湯 管	a・(ロ)・Ⅰ	c2・(ロ)・Ⅰ		e2・(ロ)・Ⅰ		排 水 管	a・(ハ)・Ⅶ	c2・(ハ)・Ⅶ		塗 装	V P V B	通 気 管					V P
施 工 場 所																																						
配 管	屋 内 露 出	隠 べ い 部	埋 設 部	屋 外 露 出	備 考																																	
給 水 管	a・(ハ)・Ⅶ	c2・(ハ)・Ⅶ		e2・(ハ)・Ⅶ	V B																																	
給 湯 管	a・(ロ)・Ⅰ	c2・(ロ)・Ⅰ		e2・(ロ)・Ⅰ																																		
排 水 管	a・(ハ)・Ⅶ	c2・(ハ)・Ⅶ		塗 装	V P V B																																	
通 気 管					V P																																	
J	工事区分	項 目	建 築	電 気	機 械	別 途	備 考																															
		・水道加入金 ・天井点検口 同補強工事 ・電気設備との取合いは機器表備考欄参照 ・換気扇電源及びスイッチ（但し、24時間換気用スイッチは機械より支給品） ・機械機器具類電源供給 ・手摺り・握りバー類（器具表に示す以外） ・厨房器具設備工事（穴あけ含む） ・同上配管接続工事 ・空調屋内機操作線工事	○	○ ○																																		
K	図面凡例	名 称	記 号	仕 様	規 格	摘 要																																
		冷 温 水 管	—— CH ——	配管用炭素鋼鋼管	JIS-G-3452	屋外露出部分																																
		冷 温 水 管	—— CHR ——	配管用炭素鋼鋼管	JIS-G-3452	屋外露出部分																																
L	メーカーリスト （参考）	品 名	メ ー カ ー 名																																			
		衛生器具	TOTO株式会社		株式会社LIXIL																																	
		排水金物	株式会社長谷川鉄工所		伊藤鉄工株式会社																																	
		電気温水器	株式会社日本イトミック																																			
		パイプ類 バルブ類	JIS規格品		JWWA規格品																																	
		ポンプユニット+受水槽	荏原製作所株式会社		株式会社テラルキョクトウ																																	
		ガスバルク配管工事	日本瓦斯株式会社																																			
		空調機器	ダイキン空調株式会社		三菱電機株式会社																																	
		ガス給湯器	ノーリツ株式会社		リンナイ株式会社																																	
		換気扇	三菱電機株式会社		東芝株式会社																																	
		グリストラップ	ホーコス株式会社		パナソニック株式会社																																	
		消火設備	株式会社立売堀製作所																																			

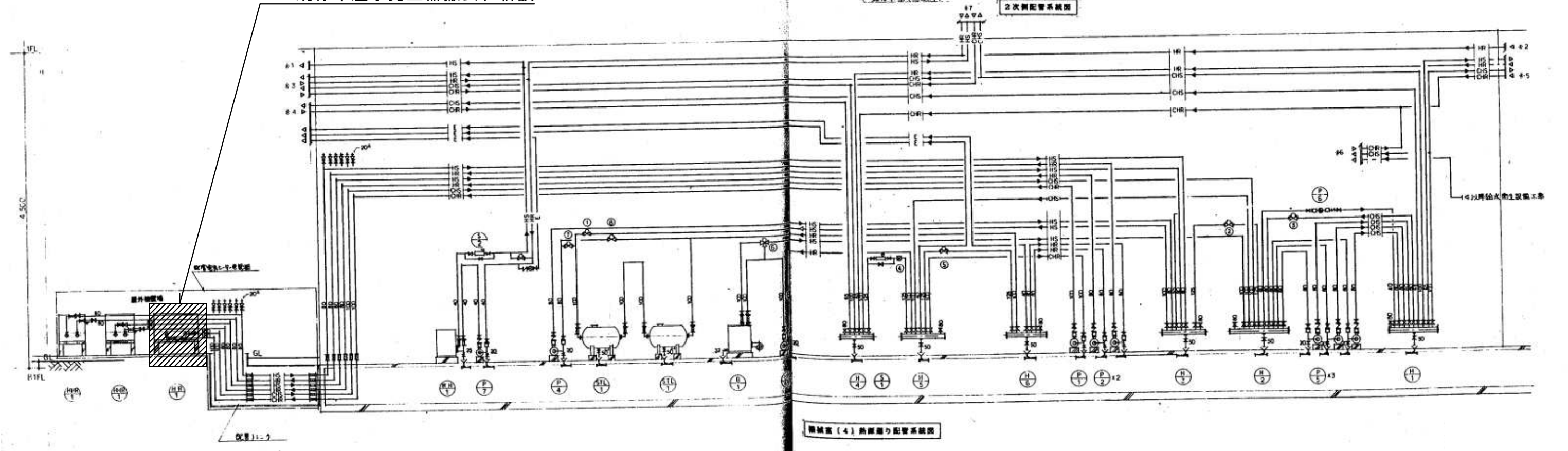
工事名称	生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾559-1			図面名称	特記仕様書	
発注機関				縮 尺	A1：NS、A3：NS	
公園名称	環境省自然環境局生物多様性センター			図面番号	M-01	
検 査	管理技術者	担当技術者	担当技術者	設計者	名 称	株式会社ディナック中日本
					資格者氏名	中込 秀
					登録番号	一級建築士 第 217345 号
					所在地	山梨県甲府市相生1-5-15-2F



工事名称	生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事			工事年度	令和7年度	
工事場所	山梨県富士吉田市上吉田剣尾5597-1			図面名称	配置図	
発注機関				縮尺	A1 : 1/500, A3 : 1/1000	
公園名称	環境省自然環境局生物多様性センター			図面番号	M-02	
検 査	管理技術者	担当技術者	担当技術者		名 称	株式会社ディナック中日本
					資格者氏名	中込 秀
					登録番号	一級建築士 第 217345 号
					所在地	山梨県甲府市相生1-5-15-2F



HR 1 部
既存冷温水発生器撤去、新設



工事名称	生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事	工事年度	令和7年度
工事場所	山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1	図面名称	系統図 (参考図)
発注機関		縮尺	A1: N.S, A3: N.S
公園名称	環境省自然環境局生物多様性センター	図面番号	M-03
検査	管理技術者	担当技術者	担当技術者
設計者	名称	株式会社ディナック中日本	
	資格者氏名	中込 秀	
	登録番号	一級建築士 第 217345 号	
	所在地	山梨県甲府市相生1-5-15-2F	

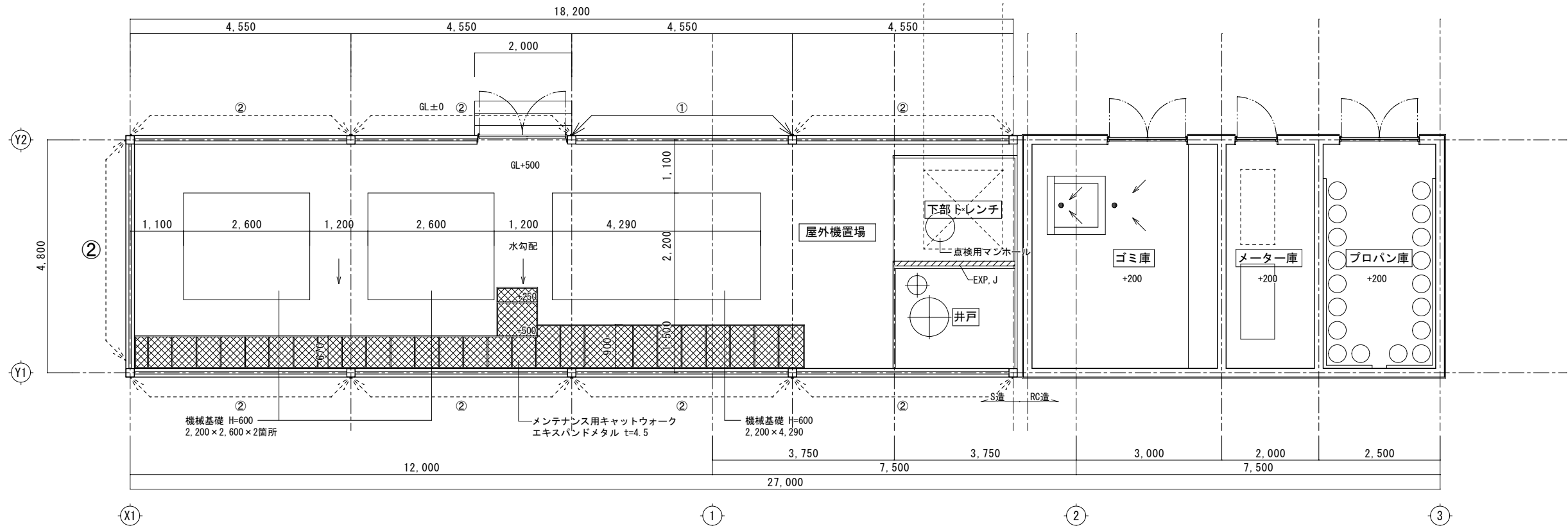
撤去

衛生設備機器表【撤去】					
記号	名称	数量	仕 様	電源（参考値）	設置場所
HR-1	空冷ヒートポンプチラー	2	【冷房仕様】冷凍能力：193.500Kcal/h 冷水入口温度：14.2℃ 冷水出口温度：7℃ 冷水量：450L/min 冷水損失水頭：1.5mH ₂ O	3φ×200V	機械室
			【暖房仕様】加熱能力：133.300Kcal/h 温水入口温度：37℃ 温水出口温度：42℃ 温水量：450L/min 温水損失水頭：1.5mH ₂ O		
			圧縮機：4P 80kw×2台 送風機：8P 0.7kw×8台		
			寸法：4100×2100×H2350 質量：4250kg		

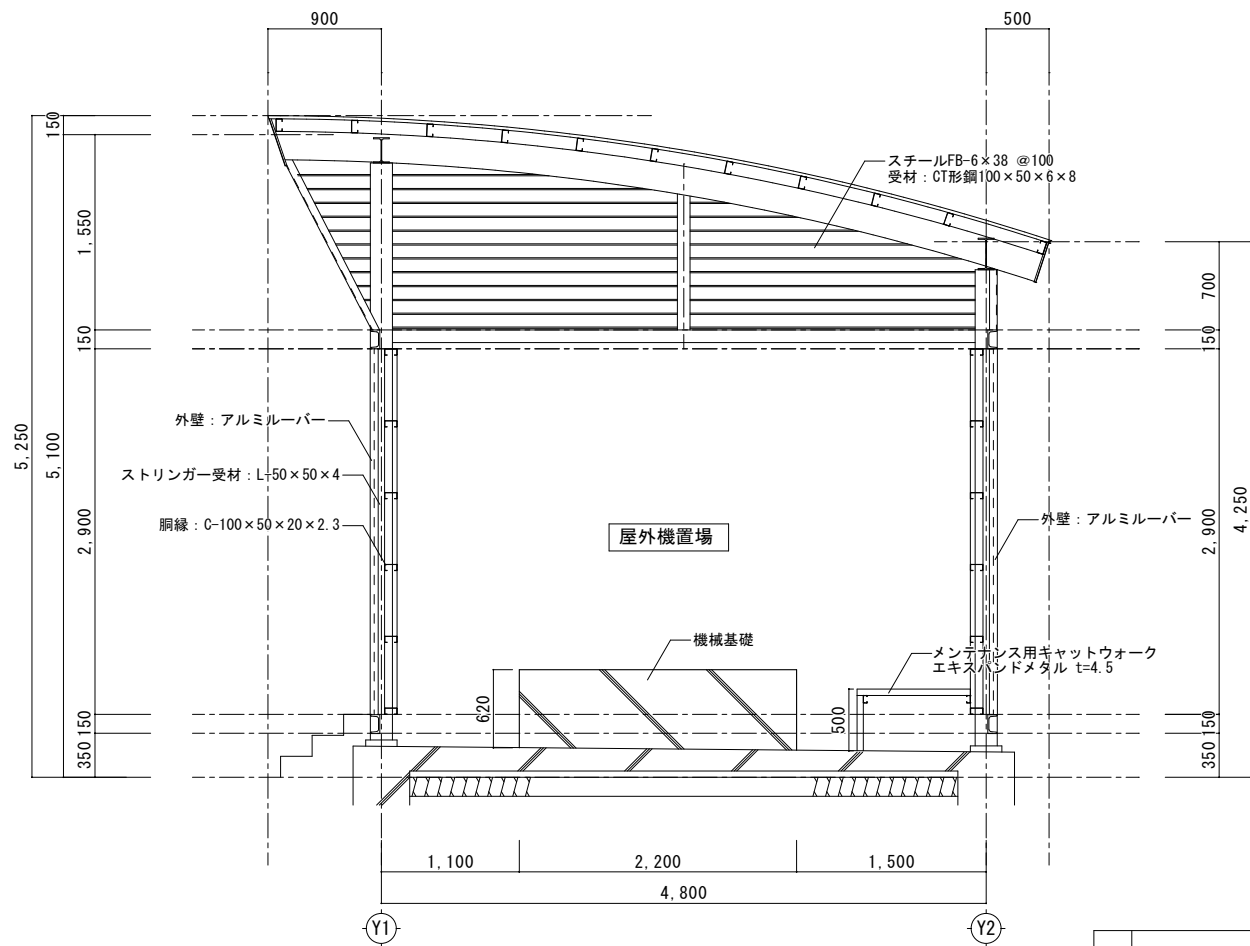
新設

衛生設備機器表【新設】									
記号	名称	参考型番		数量	仕 様	電源（参考値）			設置場所
						φ	V	k w / W	
HR-1	空冷ヒートポンプチラー	CAHV-MP1180B	三菱	2	【冷房】冷却能力：121.5kw 冷水入口：10.87℃ 冷水出口：7℃ 冷水量：450L/min	3	200	29.90kw (冷)	機械室
					【暖房】加熱能力：82.9kw 温水入口：39.36℃ 温水出口：42℃ 温水量：450L/min	3	200	30.70kw (加熱)	
					圧縮機：28.0kw 送風機（プロペラファン）：3.68kw				
					寸法：1080×3400×H2350 質量：1310kg 防雪フード 防振ゴム				

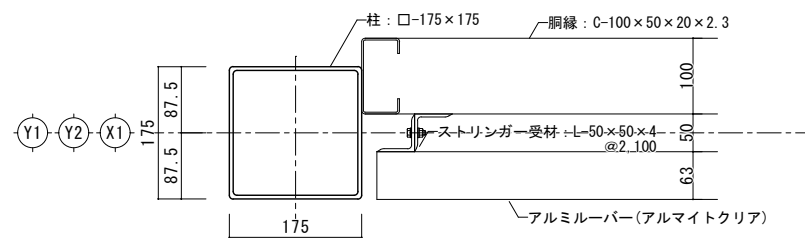
工 事 名 称	生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事				工 事 年 度	令和7年度	
工 事 場 所	山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1				図 面 名 称	機器表	
発 注 機 関					縮 尺	A1：NS, A3：NS	
公 園 名 称	環境省自然環境局生物多様性センター				図 面 番 号	M-04	
検 査	管理技術者	担当技術者	担当技術者		設 計 者	名 称	株式会社ディナック中日本
						資格者氏名	中込 秀
						登録番号	一級建築士 第 217345 号
						所在地	山梨県甲府市相生1-5-15-2F



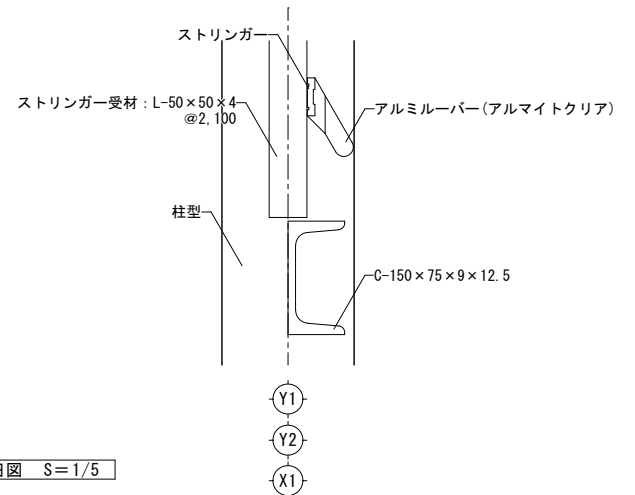
改修前平面図 S=1/50



断面図 S=1/30

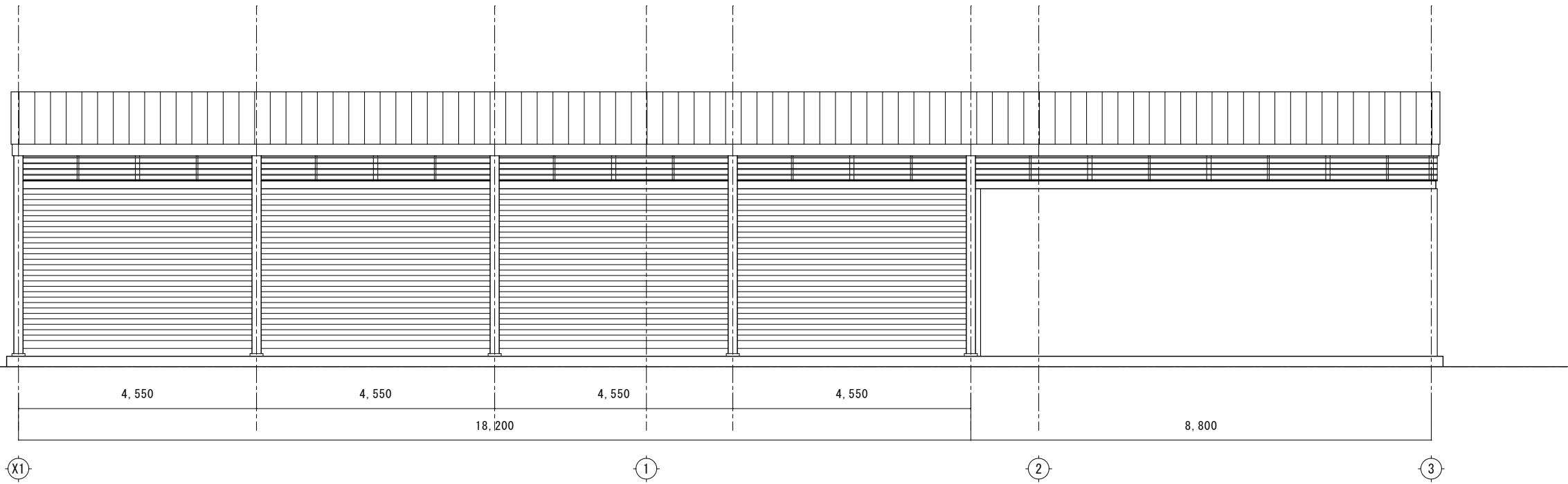


アルミルーバー取付詳細図 S=1/5

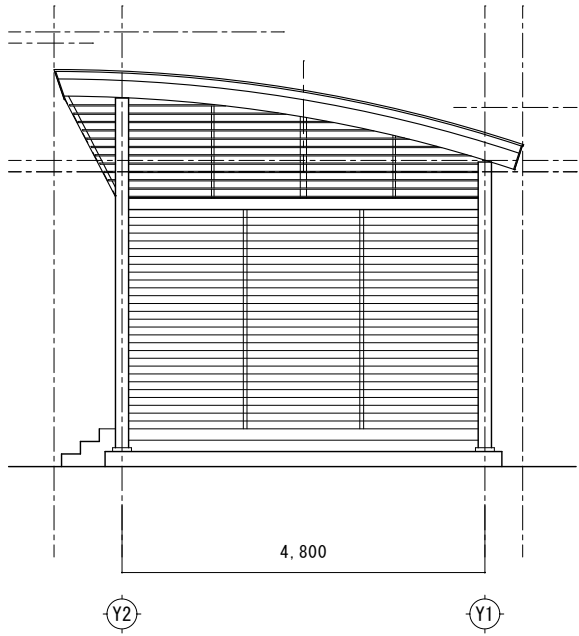


改 修 内 容	
①	既存アルミルーバー（1スパンあたり28本）、ストリンガー受材、胴縁：一時撤去、再取付 上部アルミルーバー（H650の範囲）：全て撤去（1スパンあたり6本） ※再取付時のアルミルーバーは11本とし、当初の2倍ピッチでの配置とする。
②	既存アルミルーバー：一部撤去（1スパンあたり11本撤去）及び、上部H650の範囲は全て撤去（1スパンあたり6本） ※既存アルミルーバーを1本おきに撤去し、撤去後は既存アルミルーバーが当初の2倍ピッチでの配置となる。

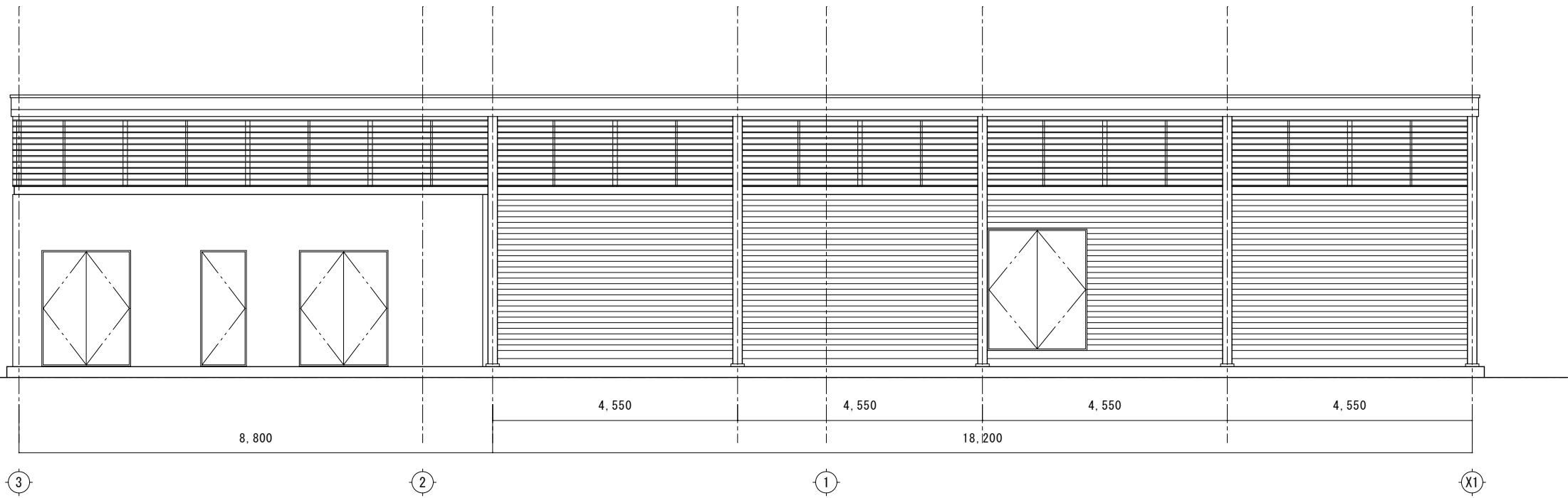
工事名称	生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事	工事年度	令和7年度
工事場所	山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1	図面名称	平面図・断面図・詳細図
発注機関		縮 尺	A1：図示、A3：図示
公園名称	環境省自然環境局生物多様性センター	図面番号	A-01
検 査	管理技術者	担当技術者	担当技術者
		名 称	株式会社ディナック中日本
		資格者氏名	中込 秀
		登録番号	一級建築士 第 217345 号
		所在地	山梨県甲府市相生1-5-15-2F



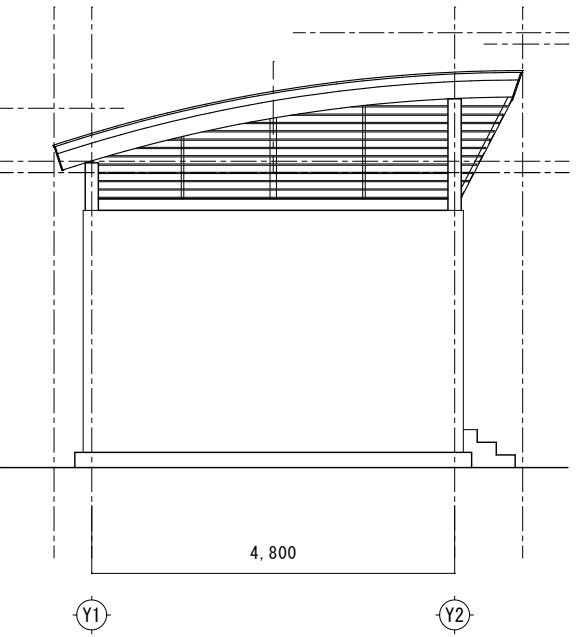
改修前北側立面図 S=1/50



改修前東側立面図 S=1/50

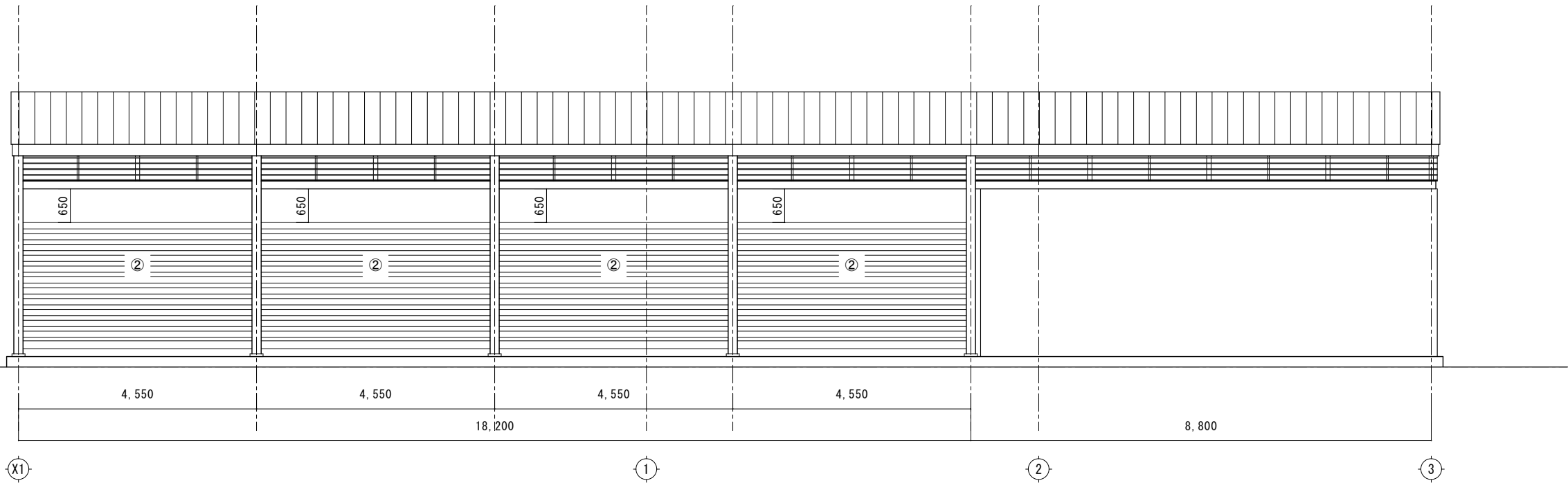


改修前南側立面図 S=1/50

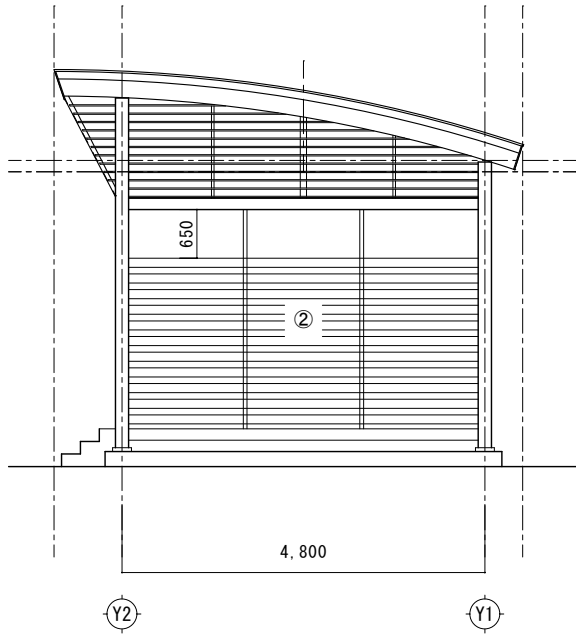


改修前西側立面図 S=1/50

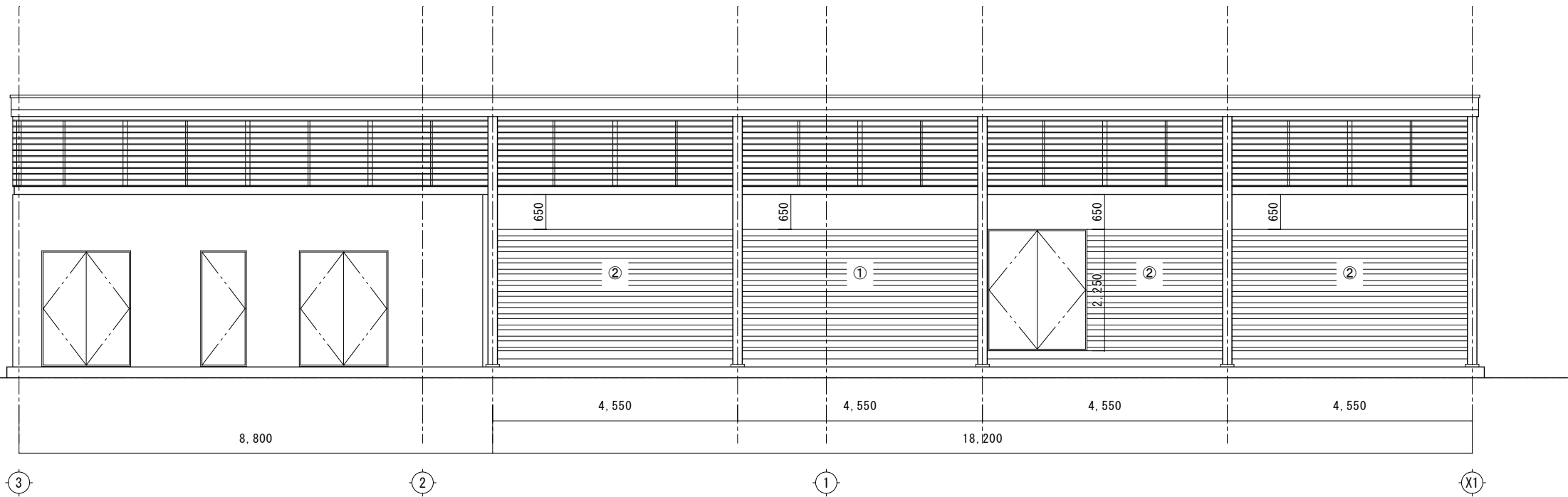
工事名称	生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事				工事年度	令和7年度	
工事場所	山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1				図面名称	改修前立面図	
発注機関					縮尺	A1：1/50, A3：1/100	
公園名称	環境省自然環境局生物多様性センター				図面番号	A-02	
検査	管理技術者	担当技術者	担当技術者		設計者	名称	株式会社ディナック中日本
						資格者氏名	中込 秀
						登録番号	一級建築士 第 217345 号
						所在地	山梨県甲府市相生1-5-15-2F



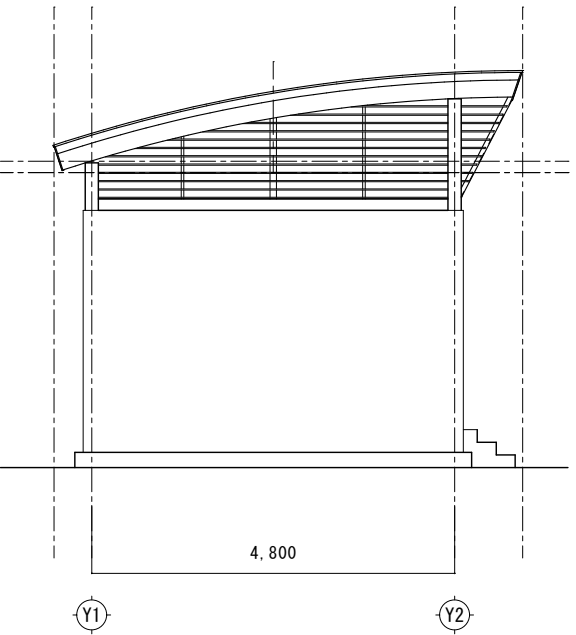
改修後北側立面図 S=1/50



改修後東側立面図 S=1/50



改修後南側立面図 S=1/50



改修後西側立面図 S=1/50

	改 修 内 容
①	既存アルミルーバー（1スパンあたり28本）、ストリンガー受材、胴縁：一時撤去、再取付 上部アルミルーバー（H650の範囲）：全て撤去（1スパンあたり6本） ※再取付時のアルミルーバーは11本とし、当初の2倍ピッチでの配置とする。
②	既存アルミルーバー：一部撤去（1スパンあたり11本撤去）及び、上部H650の範囲は全て撤去（1スパンあたり6本） ※既存アルミルーバーを1本おきに撤去し、撤去後は既存アルミルーバーが当初の2倍ピッチでの配置となる。

工事名称	生物多様性センター熱源機及び充電器更新工事	工事年度	令和7年度
工事場所	山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1	図面名称	改修後立面図
発注機関		縮 尺	A1：1/50、A3：1/100
公園名称	環境省自然環境局生物多様性センター	図面番号	A-03
検 査	管理技術者	担当技術者	担当技術者
設計者	名 称	株式会社ディナック中日本	
	資格者氏名	中込 秀	
	登録番号	一級建築士 第 217345 号	
	所在地	山梨県甲府市相生1-5-15-2F	